

事業概要シート

施策 0502 スポーツの振興

《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	東京2020 オリンピック・パラリンピック事業	拡充	予算額	33 千円
			《 》	0 千円
事業期間	平成31年度 ~ 平成32年度	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	平成三十二年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法（平成27年法律第33号）		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	33 千円

【事業の目的・概要・対象】

事業の概要

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る自治体として、市は長崎県とともに内閣府へ「ホストタウン」登録を行っている。（相手国：ベトナム、ポルトガル）

2019年度からベトナムバドミントンチームの事前キャンプを受け入れる。また、受け入れ時には長崎県トップ選手及び実業団選手との練習の調整や、選手やコーチによる市内競技者へのクリニックなどを実施し、スポーツの振興や相手国との交流を図る。

2020年のオリンピック・パラリンピックの聖火リレーを実施する。（拡充）

ベトナムバドミントンチーム誘致・交流

長崎県	誘致・交流・キャンプに係る経費の確保、ベトナム及び関係団体との連絡調整						
県スポーツコミッション	誘致・交流・キャンプに係る各施設との調整、ベトナム側との連絡に伴う翻訳、実業団チームとの交渉等						
大村市	誘致・交流・キャンプに係る市有施設の予約確保、誘致・交流・キャンプに係る経費の確保、交流事業にかかる調整						
バドミントン協会	（県バド協）練習相手の確保、（市バド協）地元競技者との交流事業						
	<table border="1"> <tr> <th>2018(平成30)年度</th> <th>2019(平成31)年度</th> <th>2019(平成32)年度</th> </tr> <tr> <td>情報収集</td> <td>事前キャンプの受け入れ ・県内の強豪選手との練習 ・九州県内実業団合宿として合同練習 ・地元競技者との交流</td> <td>オリンピック直前キャンプの受け入れ</td> </tr> </table>	2018(平成30)年度	2019(平成31)年度	2019(平成32)年度	情報収集	事前キャンプの受け入れ ・県内の強豪選手との練習 ・九州県内実業団合宿として合同練習 ・地元競技者との交流	オリンピック直前キャンプの受け入れ
2018(平成30)年度	2019(平成31)年度	2019(平成32)年度					
情報収集	事前キャンプの受け入れ ・県内の強豪選手との練習 ・九州県内実業団合宿として合同練習 ・地元競技者との交流	オリンピック直前キャンプの受け入れ					

オリ・パラ聖火リレー

	2018(平成30)年度							2019(平成31)年度							2020(平成32)年度									
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
東京2020 組織委員会	実施計画の策定							実施運営マニュアルの策定							リレー実施 全体の聖火リレー									
長崎県 実行委員会	実行委員会の設立・運営(県内市町)																							県内リレー
県内ルート(案) 選定関係作業	通過市町セレブレーション会場(素案) 提出		通過市町・デイルート概要 提出		デイルート詳細の提出			ルート公表																

【背景】

平成30年度まで「スポーツ合宿等誘致事業」の中で、大村市をバドミントン競技の事前キャンプ地とする意向があるベトナム国に対し、受け入れに向けた準備を行ってきた。ベトナム事前キャンプ誘致事業に加え、聖火リレー等、東京2020オリンピック・パラリンピック関連の事業が増えたため、平成31年度から「スポーツ合宿等誘致事業」から分離。

担当課	市民環境部地域げんき課	課長	スポーツ振興室長 石山光昭
担当者	東 奈美	問合せ先	0957-53-4111（内線187）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	市民への周知	回				10	10
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	ベトナム事前キャンプ	回				1	1
②	聖火リレー観客数	人					5,000

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	0	33	841	0	874
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				33	841	0	874
人件費		0	0	0	0	0	0
職員(人)							0.00人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	33	841	0	874

妥当性 (市の関与)	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた取組は国の施策であり、市が関与することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	市のスポーツの振興のため、ベトナム国の事前キャンプの受入れや聖火リレーを実施することは有効である。
効率性 (コスト)	事業に必要な最小経費としており、これ以上の経費の削減は難しい。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり